

非常災害対策計画

いろは山元

株式会社 MAYURA

1 災害時における組織体制

(1) 命令、指揮系統（地震防災隊）

総責任者 千葉 真由美

	総括責任者	不在時(副総括責任者)
法人		
Petit Eclair		
Ma rue 移行		
いろは まるごと		
いろは 山元		
愛子相談支援事業所		

役割分担表

班	情報収集 連絡担当	救護	避難誘導安全対策	物資
法人				
Petit Eclair				
Ma rue 移行				
いろはまるごと				
いろは山元				
愛子相談 支援事業所				
任務	気象・災害の情報収集 職員・家族の安全確認 関係機関との連絡・調整 利用者家族への連絡 避難状況の取りまとめ	負傷者の救出 負傷者への応急処置 負傷者の病院搬送	利用者の安全確認 利用者の避難誘導 利用者の状況説明 利用者の家族への引き渡し 設備の被害状況の確認 火の元の確認、初期消火	食料、飲料水他備品の管理 備蓄品の管理

1 災害時における組織体制

(2) 職員の参集

職員参集基準

配備体制	配備基準	対象職員
注意配備体制	<ul style="list-style-type: none"> ①地域に大雨、風雪、高潮、洪水注意報が1以上発表されたとき ②県下に震度3の地震が発生したとき ③県下に津波注意報が発表されたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人総括責任者は自宅で待機し、常に出勤できるようにすること
警戒配備体制	<ul style="list-style-type: none"> ①地域に大雨、暴風、暴風雪、高潮、洪水警報が1以上発表されたとき ②県下に震度4又は震度5弱の地震が発生したとき ③県下に津波警報が発表されたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人総括責任者は事業所へ出勤すること ・その他総括責任者は、家族等の安全を確保し自宅で待機。常に出勤できるようにすること
災害対策本部体制	<ul style="list-style-type: none"> ①地域に相当規模の災害の発生が予測され、その対策を要するとき ②地域に災害が発生し、その規模及び範囲等から早急な対策を要するとき ③県下に震度5強以上の地震が発生したとき ④県下に津波災害が発生し、又は津波災害の発生するおそれがあるとき ⑤その他、法人総括責任者が必要と認めるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人総括責任者は本部へ出勤すること ・その他総括責任者は、家族等の安全が確保され次第出勤すること

2 緊急連絡網

(2) 関係機関との連絡体制

関係防災情報一覧表

情報	機関	機関名	電話番号
行政情報	消防	巨理消防署	0223-34-1155
	警察	巨理警察署	0223-34-2111
	保健所	山元町保健福祉課	0223-37-1111
	保健所	塩釜保健所岩沼支所(管轄)	0223-22-2188
	市役所	山元町役場	0223-37-1111
ライフライン	電気		
	ガス	仙南ベニーガス	0223-34-7237
	水道		
	通信		
救護関係	協力医療機関	菊地内科医院	0223-37-3300

3 災害予防対策

(1) 災害予防対策

項目	チェック
・事務室は整理整頓に努め、不要な物品を置かない。	
・電話線等のコード類は、床面・通路に露出させない	
・危険物施設等の点検と安全措置を定期的に実施する。	
・消防用設備等の点検を実施する。	

(2) 持ち出し品の準備

《持ち出し品の準備のポイント》

- ・ 非常時持ち出し袋等にまとめて常備し、いつでも持ち出せるようにしよう。
- ・ いざという時に取り出せない！ということがないように、見えやすく取り出しやすい場所に置くことが必要です。
- ・ 重すぎて持ち出せない、ということがないように注意しましょう。

品目	チェック	品目	チェック
引渡カード		タオル 3枚	
消毒液		ビニール袋 大・小	
絆創膏		雑巾	
包帯		割りばし	
体温計		紙コップ・紙皿	
懐中電灯		ラップ	
飲料水 500mlX2		アルミホイル	
携帯ラジオ		ガムテープ	
携帯発電機		非常災害対策計画	

(3) 必要な物資等の備蓄

食料・炊事用具	衣料	生活用品	救急器材	復旧機材	その他
飲料水	毛布	懐中電灯	救急医薬品	大工道具セット	ラジオ
非常食	ビニールシート	電池	衛生器具 (はさみ、ピンセット等)	スコップ	ヘルメット
缶切り	タオル	ローソク	衛生材料 (ガーゼ、包帯等)		簡易トイレ
食器	軍手	カイロ			
鍋	下着	ロープ			
バケツ		雑巾			
ビニール袋		トイレットペーパー			
カセットコンロ		ティッシュペーパー			

* 非常用持ち出しナップザックを含め、定期的な点検と補充が必要です。

4 避難計画

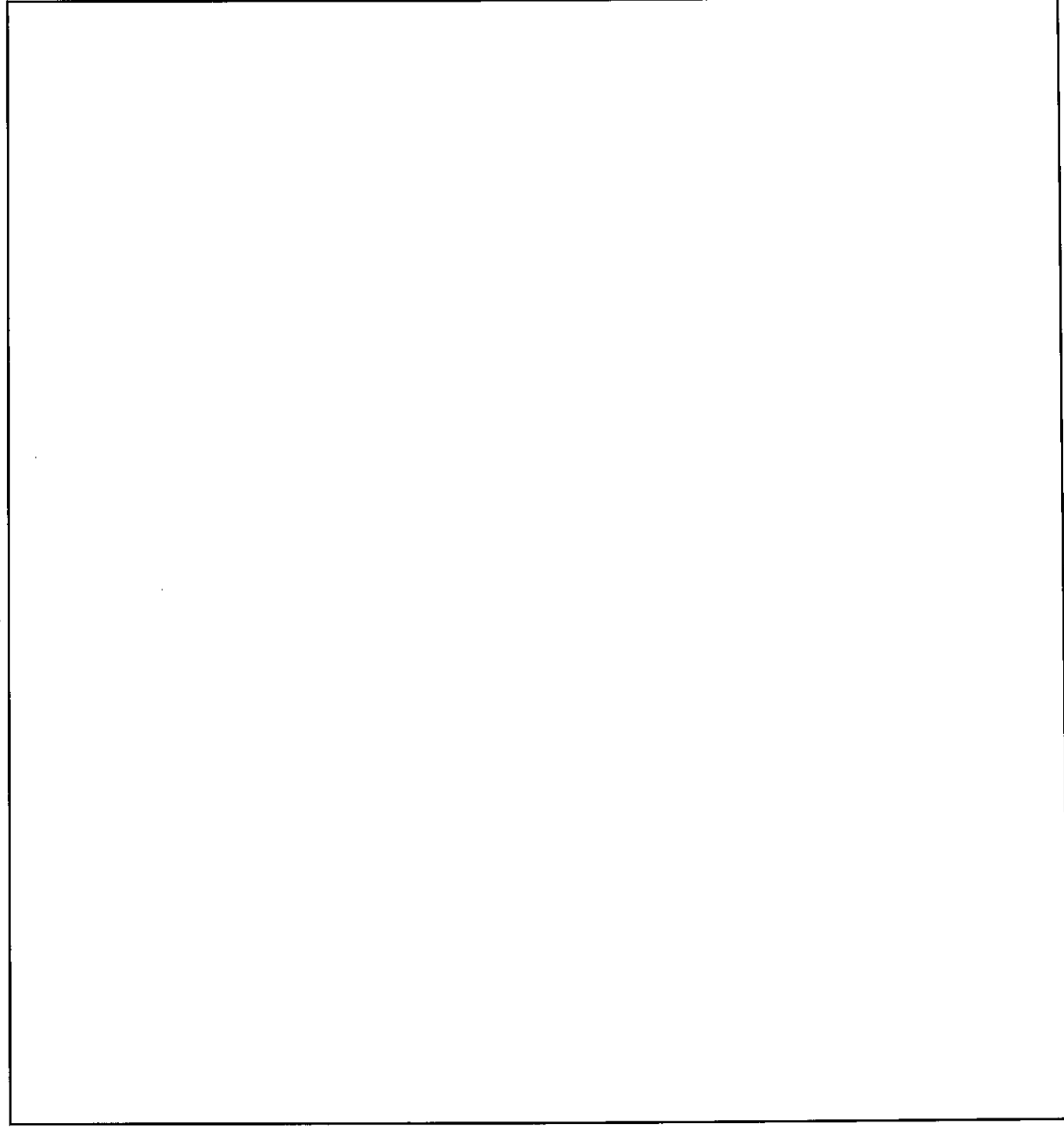
事業所名 いろは山元

(1) 避難場所

	避難場所	所要時間:分	距離:km	備考
地震	山元町役場	3分	500m	
津波	山元町役場	3分	500m	
火災	山元町役場	3分	500m	
大雨・強風	山元町役場	3分	500m	

(2) 避難経路

ア 防災マップ



4 避難計画

(2) 避難経路

イ 施設内避難経路

事業所名

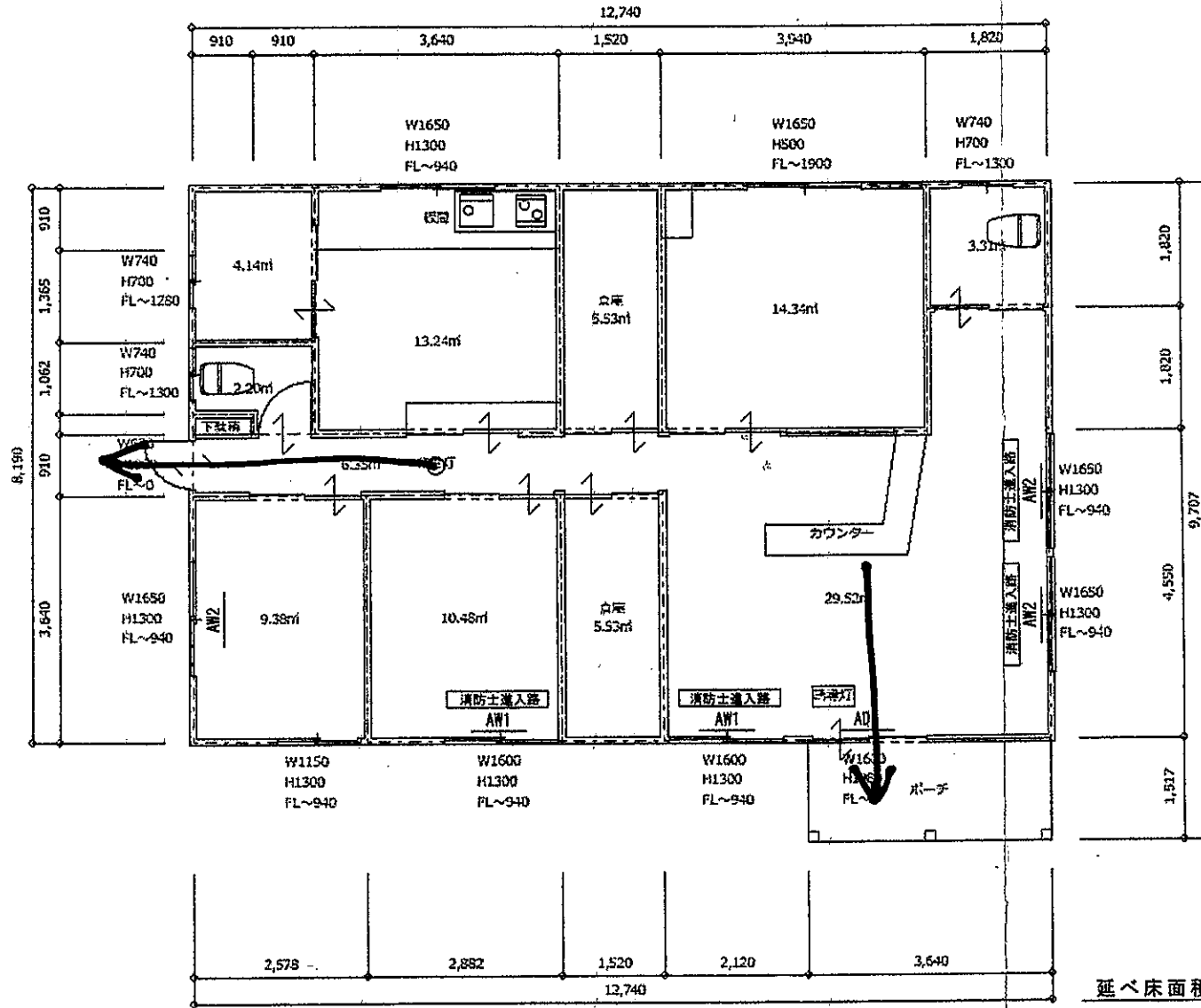
いろは山元

別紙 1

(3) 避難方法

※利用者の状態ごとに避難するための方法記載してください。

1	集合	駐車場			
2	点呼・安否確認				
3	歩行	可:	担当者別に班を作る	不可:	移動手段の検討
4	避難開始	準備ができ次第指定避難場所に誘導			



5 防災訓練等の実施

(1) 防災訓練 ア 避難訓練の実施回数

事業所名	いろは山元
	令和 年度

避難訓練の実施回数	2回/年
宿泊を伴う場合：夜間を想定した避難訓練の実施回数	0回/年

イ 避難訓練の参加者

職員	利用者

ウ 想定する災害の種類

火災	地震	津波	大雨・強風
○	○	○	

エ 避難場所

--

オ 避難場所までの避難目標時間

カ 避難訓練の内容

①	避難目標時間内に迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
②	防災マップ及び事業所・施設内の避難経路のとおり迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
③	災害時における役割分担表のとおり迅速な対応ができるかどうかの検証を行う。
④	職員の少ない時間帯での対応を想定した訓練を実施し、迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
⑤	消火器を使用した初期消火の訓練を行う。
⑥	

5 防災訓練等の実施

(2) 防災教育の実施

職員に対して、防災に関する意識向上及び災害時における技術向上を図るため、次の防災教育に取り組んでいくこととする。

ア 防災に関する研修会等への参加

消防署等が定期的で開催する防災研修に参加。

事業所名	いろは山元
	令和 年度

研修名	1回/年
-----	------

イ 事業所・施設内での研修の実施(年1回)

事業所・施設内での研修

日時	1回/年
----	------